

# せしゅくし SELECT

2022. 11  
NOVEMBER  
No.89



東京ワーカーズコレクティブ協同組合 <http://www.tokyo-workers.jp>

## 私の仕事術

### 「ワーキングバリアフリー」に込めた想い

私はワーキングバリアフリーという社団法人で、障がい者の就労支援を行っています。ワーキングバリアフリーとは、ワーキング（仕事）とバリアフリーを合わせた造語で、「どんな境遇の人でも、自分の強みを活かして仕事ができる。その実現のために、あらゆる障壁（バリア）を失くしたい」、そんな想いを込めています。

私が主に関わるのは、統合失調症や発達障害などの精神障がい、近年他の障がいと比べて増加傾向にあります。精神障がい者は、こだわりが強く、高い集中力で、比較的高度な作業を丁寧かつ正確に行うことが得意です。この強みを生かした仕事を創出したい、という想いから「ジョブボン」プロジェクトは始まりました。

### 障がい者の強みを生かした「ジョブボン」

「ジョブボン」とは、ジョブ（仕事）とボン（本）をあわせた造語です。

仕事内容は多岐に渡ります。本の状態をチェックしてクリーニング（リペア）、パソコンを使ってアマゾンへ登録、注文を受けたら梱包して発送。当初はトラブルもあったものの、業務フロー、システム、マニュアルを整備することで、今では殆どの作業を障がい者自身で判断してできるようになりました。

なお、アマゾンの店舗評価は高評価 99%です。



本の埃をハケで丁寧に落としていて、出荷します

## 古本で障がい者就労支援 「ジョブボン」の挑戦

一般社団法人ワーキングバリアフリー 島田博之



### ●しまだ ひろゆき●

一般社団法人ワーキングバリアフリー代表理事。早稲田大学法学部卒業後、ヤフー、アマゾンなどネット業界でキャリアを積み独立。障害者就労支援の事業を行っています。



日にちで分けられ、出荷を待つ本

これは他店舗と比べてもかなり高くなっています。障がい者の丁寧で正確な作業によって、質の高い商品を購入者の元に届けることができます。また、購入者から直接評価をもらえるため、モチベーションアップに繋がっています。

### ブックポストから 次のバリアフリーを目指して

現在の課題は、より多くの本を集めることです。集めれば集めるほど障がい者の仕事に繋がります。企業や美容院、マンションやカフェなどに回収ボックス（ブックポスト）を設置して本を回収しています。2022年10月現在でブックポストの設置数は125箇所、集めた本は約60万冊にのぼります。

現在、提携障がい者施設は41社となりました。今後は、施設が地域から本を回収できるように整えていきたいと考えています。本を通して地域の住民や企業と触れ合うことで、障がい者が地域と分断されない＝バリアフリーを実現できると考えています。

### infomation

#### 読み終えた本の寄付をお願いします

ブックポスト（幅38cm×奥行27cm×高さ90cm）は設置場所を提供いただける場合は1箱まで無料です。詳しくは、[「ジョブボン」](#)で検索



# 忘れない 3.11

岩手県

## 何ができるか、現場に立って考えましょう

第11回被災地訪問 東松島市～石巻市～南三陸町～女川町視察  
2022年10月12日～13日

南三陸

宮城県

東松島

石巻

女川

東日本大震災の翌年から始まった東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合の「被災地訪問」企画は今年度で11回目となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大のなか、オンライン交流として2020年は現地の復興状況、2021年は現地との事業連携をテーマに意見交換を行いました。今年度は念願の現地訪問を再開し、17名で訪問しました。昨年から検討している事業連携の実体化をめざしての訪問となりました。

### (株)高橋徳治商店 (東松島市)

2018年に東松島新工場敷地内に野菜加工場を新設。NPOと提携し地域の生きづらさを抱えた若者たちの就労の場を作る

「高橋徳治商店」は、3つ工場が震災で全壊しました。重機も車も無い中で、ヘドロや瓦礫50トンボランティアたちと人の手だけで片付けたとお聞きし、気が遠くなる思いでした。

震災以降、野菜加工場では、「作業の早い人が遅い人の手助けをすれば作業がスムーズに流れるので、支え合う関係や、想う工夫が大事だ」と、話されました。

高橋英雄社長の「情報の共有・楽しく・支え合いの気持ち・何が大切か・何が大事か」と言う話は、私たちの働き方に当てはまる言葉で、とても印象に残りました。「グレイン」ではこの工場の「だだちゃ豆」を使った「豆パン」を製造・販売し、応援していきたいと思えます。

((企) ワーカーズ・コレクティブグレイン 庄司真智子)



参加者と高橋英雄さん（前列左から3人目）



野菜加工場の説明をする高橋敏容さん(右)

### (一社)石巻グリーンサポート (石巻市)

2018年に石巻市で初めてのカフェ形式の就労継続支援B型事業所でカフェ店舗「パーラー山と田んぼ」を開業。主に精神障害で働く事に不安を感じている方のサポート



パーラー山と田んぼの店内

◀中央が代表の木村直隆さん

昼食でご一緒した方が「ここは働いている人が元気になっていくんです」と力説。地元の農家やお店と連携して、事業所の中だけでなく地域とも協力して、お互いに支えあっているのが伝わってくる空間でした。  
(ワーカーズ・コレクティブぶるっぺりい 金子雅彩)

## ホテル観洋（南三陸町）

ホテルは2階までは被災。震災直後には宿泊客や従業員、近隣からの避難者350人が孤立。女将は1週間分の献立を作り、風呂や水道の使い方など「水のルール」を客や被災者にも徹底した。指定の避難場所ではなかったが、震災から56日目に600人の避難住民を受け入れ、衣食住を180日間提供した。



語り部の伊藤俊さん

約1000人の人達が生活していたと聞き正直ビックリしました。伊藤さんの「災害は初動対応が大事」「災害は物だけではなく、人の心まで壊す」との言葉が心に残りました。語り部バスでは、戸倉小学校では避難経路を屋上と高台の2ルート想定していたが、震災当日はとっさの判断で高台に避難し生徒も先生方も助かったとのこと。日頃の避難訓練やとっさの判断が重要だと感じました。震災から11年が経ち視察などもほぼなくなっていますが、震災のことを忘れないためにも交流会はずっと続いて欲しいと思いました。  
(多摩きた生活クラブ理事 塩澤美香子)

## 震災遺構大川小学校（石巻市）

三陸海岸・追波湾の奥にある新北上川を津波が遡上し、地震発生後およそ50分後河口から約5kmある大川小学校を襲い、児童・教職員84名が死亡した。石巻市は2019年度より周囲に桜を植林し、「大川震災伝承館」を整備し、2021年7月公開開始。



震災遺構大川小学校



大川震災伝承館の館内

大川震災伝承館の震災前と震災直後の航空写真を見て、その激変ぶりに全く言葉が出てこなかったです。「地震の後、なぜ校庭に留まって高台に逃げなかったのか」など、後からなら何とでも言えますが、あの時、あの未曾有の状況下ではそれが最良の策だったのだろうと感じました。だからこそ悲しい記憶として遺すだけではなく、そこから各々が何を学び未来への備えとして遺し、伝え続けていくことが大事だと感じました。  
(金子雅彩)

## (一社) コミュニティスペースうみねこ（女川町）

震災から約1ヶ月後、石巻市に住む元保育士の八木純子さんは子守りや子育ての支援活動を開始。被災者のニーズを調査し、女性のサポートを行った。女川町では仮設住宅に籠っていた高齢の女性の布草履づくりを開発し、製作・販売。2013年「コミュニティスペースうみねこ」を立ち上げ、安心で安全なコミュニティ作りを目指している。



カフェゆめハウスの前で。八木純子さん（左）

いちじく畑

八木さんが、目の前の「この人」を楽しくさせるにはどうしたら良いか「この人」の良さは何か、活かすにはどうしたら良いか、を考える事が大切と話されたことが印象深かったです。日々、保育士として子どもたちと接している私にとっても、一番大切なことだと思いました。現在、建設途中のお惣菜屋のリフォームでも沢山の人の特技が生かされています。近隣の人々が集まれる場所が早く完成するよう願っています。  
(ワーカーズ・コレクティブ保育室モモ 上田由美子)

## (NPO法人) こども∞感ぱにー（石巻市）

震災後、子どもたちの「居場所がない」という声に応えようと、田中雅子さんが思いある地域の大人とともに2013年に活動を開始し、2015年に法人格取得。プレーパーク・フリースクール・遊びの出前・サバイバルキャンプ等を展開中。

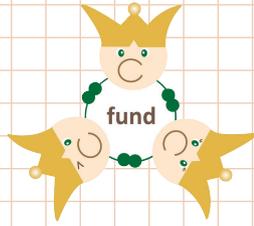
大工道具があったり、雨水が貯めてあったり、焚き火もできるようになっていて、子どもたちは楽しいだろうなと想像しました。フリースクールは大きなお家で、子どもたちは自分の家にいるみたいに過ごせそうだなと感じました。  
(塩澤美香子)  
「自分の責任で遊ぶ公園」を維持していくこと、子どもたちが抱える課題や問題の解決に向き合うことなど、スタッフの方たちのご苦労は大変なものだと思います。プレーワーカーが常駐されていること、一緒にご飯を食べられる場所であることは大きな魅力!  
(N) ワーカーズ・コレクティブちろりん村 望月美砂緒



震災直後のボランティアを経て、東京から石巻市に移住した田中雅子さん（奥）▶

## 東京ワーカーズ・コレクティブ支援基金

支援基金は「新しい事業を始めたい」「思いきった事業展開をしたが難しい」というワーカーズ・コレクティブに対して費用援助をするしくみです。ワーカーズ・コレクティブ運動に賛同する個人や団体からの寄付を基金として「お金のたすけあい」を行なっています。



### 第33回支援基金助成団体決定!!

- (N) 菜の花・まちだ  
事業継続のための募集チラシ作成・配布費用
- ワーカーズ・コレクティブ ベストファイブ  
新規事業としての企画開催費用・DMはがき作成費用
- (企)ワーカーズ・コレクティブ  
キッズルームていんかあべる  
パソコン買い替え費用
- (企)ワーカーズ・コレクティブ 椀もあ  
事業拡大のためのチラシ・店頭のぼり作成費用
- (N)ワーカーズ・コレクティブ ちろりん村  
15周年イベント開催費用
- (企)ワーカーズ・コレクティブ グレイン  
パソコン買い替え費用

### 支援基金募金箱に寄付が集まりました!

東京の生活クラブ生協10デポーターに募金箱を設置させていただいております。組合員の皆様から25,563円(2022/4~10)の募金をお預かりしました。ワーカーズ・コレクティブ事業の継続に大事に使わせていただきます。ありがとうございました。引き続きのご支援をお願いいたします。



手づくりの募金箱



デポーター石神井店内

## 2022・秋の食イベント

### 食べることは生きること

食関連ワーカーズ・コレクティブは「安心・安全な食材を使いおいしい食を提供」するだけでなく、地域社会において環境・都市農業保全など様々な役割を担っています。

事業継続と発展のために今秋、多摩地域でのイベントに参加します。

### 10月29日(土) @多摩統合センター

#### 生活クラブフェスタ

「お待たせしました、イイモノ集合!」  
「ワンランク上のおいしさ見つかります!」



本日のワーカーズ・コレクティブメンバーパンも弁当も完売!

### 11月19日(土) @国分寺駅前北口広場

#### 生活クラブのキャラバンカー×

ワーカーズ・コレクティブと一緒に働こう!

食べてHAPPY 知ってHAPPY



読んでみませんか!

#### 『小さな起業で楽しく生きる』

全国各地のワーカーズ・コレクティブの実例を紹介。ワーカーズ・コレクティブのメリットや問題点、働く事への想い、働き方がわかります。また、ワーカーズ・コレクティブの作り方や、運営方法なども解説しています。

出版社: ほんの木 価格: 1,400円(税別)

ご購入の連絡は、東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合まで



東京ワーカーズ・コレクティブ協同組合情報誌「せれくと」No.89

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル5階

TEL:03-3207-1941 FAX:03-3207-1945

E-mail office@tokyo-workers.jp

http://www.tokyo-workers.jp

発行日 2022年11月21日

編集 ワーカーズ・コレクティブ 企画編集のもの  
年間購読料 600円(年4回発行)